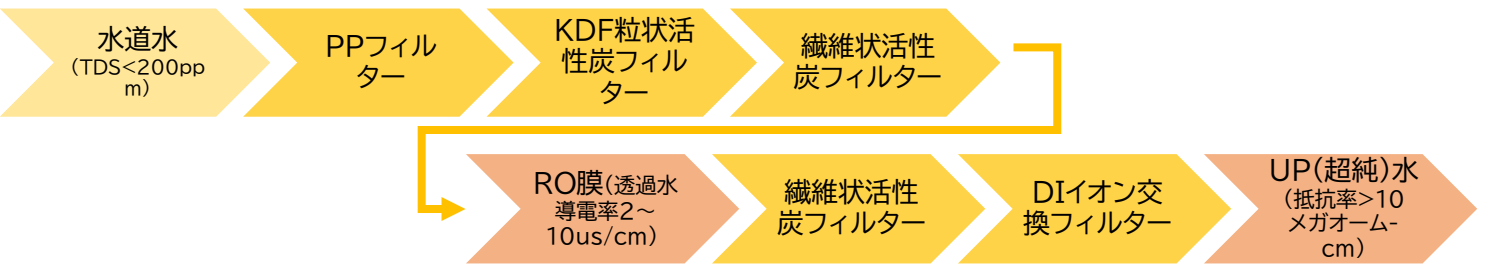
OSK 97IT RO-DI Ｓシーリズ 超純水製造装置

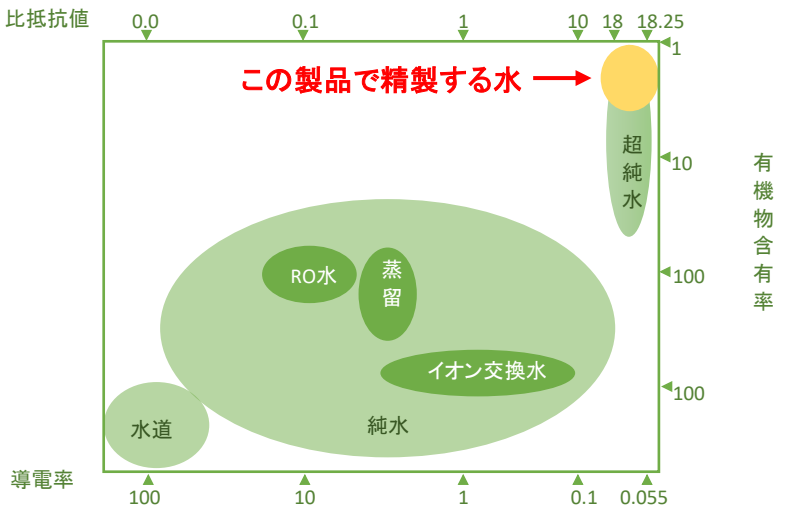
JIS K0557 A3グレード相当の 純水（DI水）を製造する超純水製造装置です。
純水を使った実験におけるニーズに応え、簡単な設置方法で常に純水・超純水を精製できます。
この装置は合計9基の各種フィルターを装備、６段階のプロセスで供給水を浄化します。



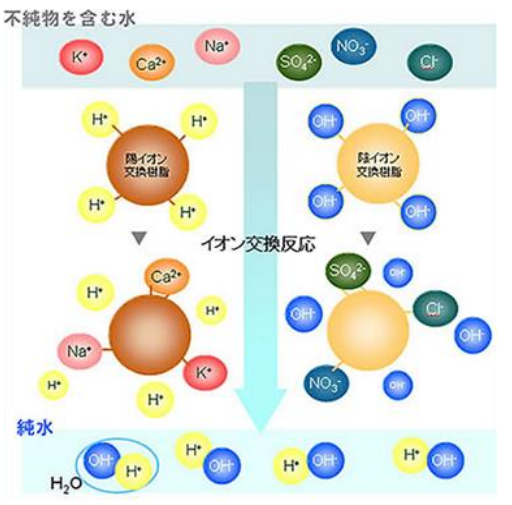
【特徴】

・全自動電子制御で複雑な設定は不要。
・比抵抗値18.25MΩ.cm、導電率0.055μs/cm、有機物含有率<1 CFU/mL の超純水を精製できます。
・LEDディスプレイに「水精製」、「洗浄」、「満水」、「水不足」など装置の状態をリアルタイムで表示。
・万一障害が発生した場合はバックライトの色が変化して警告表示。
・内蔵RO膜自動洗浄プログラム（７日間に一回自動洗浄）、起動時セルフテスト、水不足保護アラーム、停電時自動リセット機能。
・卓上型、壁取付型の２タイプ、精製量別に4機種から選択可能。
・JISK0557「用水・排水の試験に用いる水」のA3に相当する水質。

【OSK 97IT RO-DI Ｓシーリズで精製できる超純水】



【イオン交換フィルターの原理図】



出典：https://ionexchange-info.com/about/

【仕様】

型番		OSK 97IT RO-DI S01	OSK 97IT RO-DI S02	OSK 97IT RO-DI S03	OSK 97IT RO-DI S04
精製処理方式		PPフィルター+2種類の活性炭フィルター＋ +RO（逆浸透膜）モジュール+イオン交換フィルター(DI)			
使用用途		生化学分析、超純水、微生物培地、化学・生化学試薬構成、緩衝剤構成、写真フィルム洗浄、安定性試験室用水、気象実験装置、水素発生装置、加湿器、その他機器への給水。			
供給水水質		水道水：TDS<200ppm, 5-45°C, 0.1-0.5MPa/cm2 (給水TDS>200ppmの場合はオプションの外部軟化器使用)			
精製量※1		約15L/時	約30L/時	約45L/時	約60L/時
精製方式	前処理	・PPフィルター(10インチ)　x1 ・KDF粒状活性炭フィルター(10インチ)　x1 ・繊維状活性炭フィルター（10インチ）×2			
	RO膜処理	100GPD※2　x1	200GPD※2　x1	300GPD※2　x1	400GPD※2　x1
	後処理	イオン交換フィルターｘ4	イオン交換フィルターｘ4	イオン交換フィルターｘ4	イオン交換フィルターｘ4
イオン交換精製水質	比抵抗値	18.25MΩ.cm			
	導電率	0.055 μs/cm			
	微粒子含有率(>0.22μm)	<1/ml (オプションの0.2μmPES端子フィルタ装着時)			
	有機物含有率	<1 CFU/mL (オプションの0.2μmPES端子フィルタ装着時)			
RO水質指標※3		RO水TDS（全固形分溶解度、ppm）≦供給水TDS×5%（脱塩率≧95%）			
吐水口		2基：RO水用×1、UP（超純）水用×１			
供給水質測定方法		TDS測定器　（付属）			
準拠規格		JISK0557相当			
設置条件	供給水水質	水道水			
	水温	5～45℃			
	水圧	0.1-0.5MPa/cm2			
	供給TDS値	＜200ppm			
	排水	1/4インチPE水道管			
	pH値	pH3-10			
電源		100-240V, 50-60Hz/120W			
寸法		45x45x50cm			
重量		約45Kg			

※1：供給水水圧、温度および ROモジュールの状態による。※2：GPD＝gallon per day； 1 gallon = 3.78 liters.

※3：TDS200ppmで環境温度25℃、50psiで15%リカバリー率での測定

【標準付属品】

・OSK 97IT RO-DI Ｓシーリズ 超純水製造装置
・12L加圧コンテナ
・TDS測定器
・アクセサリーセット（バルブ、パイプコネクター）
・電源ケーブル
・取扱説明書
・保証書

12L水加圧コンテナ

表示部

本体

筐体内部

TDS測定器

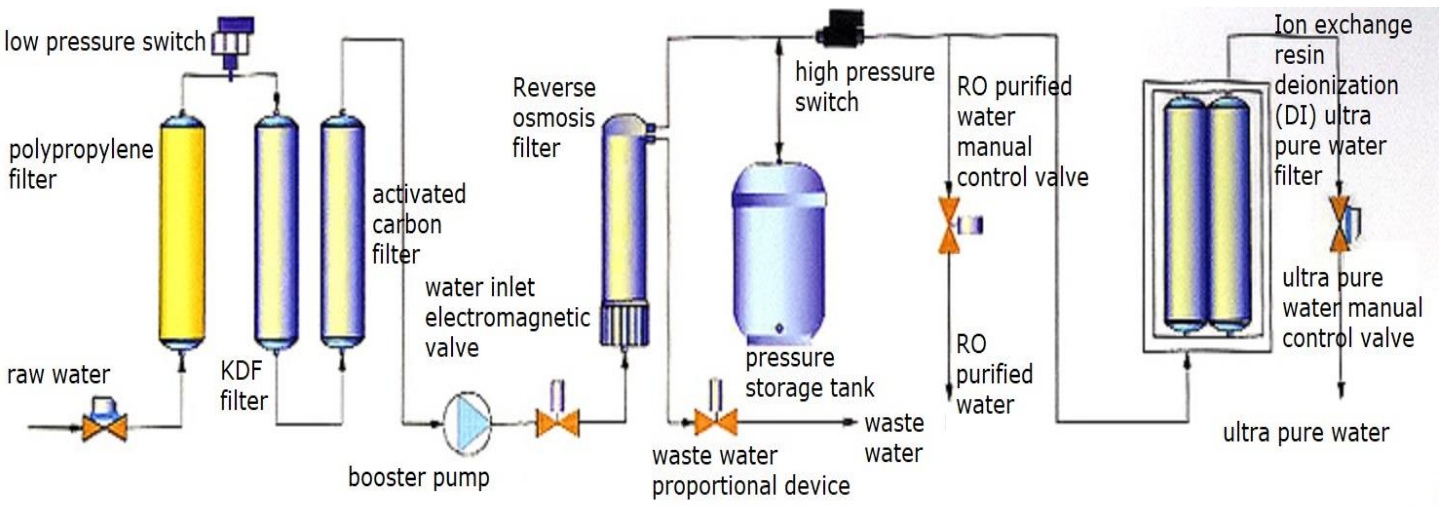
【オプション】

・0.2μmPES端子フィルタ
・外付け型供給水軟化器

【フィルタ交換期間の目安】

・PPフィルター：2-6ヵ月毎
・活性炭フィルター：4-6ヵ月毎
・ROモジュール：12-24ヵ月毎
・脱イオン処理（DI）フィルター：精製1,000L毎

【精製プロセスの詳細図】



OSK オガワ精機株式会社

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-2-9
TEL：03-3200-0234, FAX：03-3200-0373
Email：osk.domestic2@dune.ocn.ne.jp

Ver. 1 2022/07/08